

小4

中学受験 算数

ポイント

名前 \_\_\_\_\_

## 差集め算・過不足算

\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日

## まとめ 差集め算・過不足算

特殊算

標準

① 全体の差を求める(余りとたりないはたす、両方余る・両方たりないはひく) ② 1人あたりの差を求める ③ 全体の差 ÷ 1人あたりの差 = 人数

例

(1) 1人3個ずつだと8個余り、5個ずつだと4個たりない

全体の差は  $8 + 4 = 12$  (個)

1人あたりの差は  $5 - 3 = 2$  (個)

人数は  $12 \div 2 = 6$  (人)、みかんは 26 個

3個ずつ  $3 \times 6$  余り8

5個ずつ みかん26個 たりない4

2本の白い部分のちがいが、全体の差 12 個(余り8+たりない4)

(2) 1人4本ずつだと20本余り、6本ずつでも4本余る

全体の差は  $20 - 4 = 16$  (本)

1人あたりの差は  $6 - 4 = 2$  (本)

人数は  $16 \div 2 = 8$  (人)、えんぴつは  $4 \times 8 + 20 = 52$  (本)

4本ずつ  $4 \times 8$  余り206本ずつ  $6 \times 8$  余り4

両方余るときは、余りの差が全体の差

(3) 80円のえんぴつの予定が、110円のペンを同じ本数買って240円高くなった

1本あたりの差は  $110 - 80 = 30$  (円)

本数は  $240 \div 30 = 8$  (本)

差集め算。1本ごとの差 30 円が集まって、全体の差 240 円になる

(4) 長いすに4人ずつだと6人すわれない。5人ずつだと最後の1脚は2人で、1脚あまる

あまった1脚と最後の1脚をうめると  $5 \times 2 - 2 = 8$  (人)たりない

全体の差は  $6 + 8 = 14$  (人)、1脚あたりの差は 1 人

長いすは  $14 \div 1 = 14$  (脚)

長いすは「何人たりないか」に直してから、過不足算の型にする

